



東北のかなめ

vol.57 (2022.6)

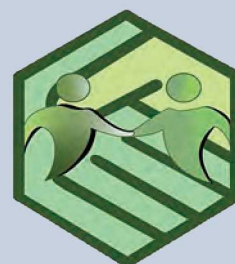


弘前ねぶたまつり

写真提供：青森県弘前市

【CONTENTS】

- ✓ 福島県沖を震源とする地震に対応
- ✓ トピックス
 - ・三沢飛行場周辺対策事業(青森県三沢市、東北町)
 - ・令和4年度 新規採用者入省式
- ✓ ようこそわが街へ(第27回)～青森県弘前市～
- ✓ 防衛関連企業シリーズ⑩：未来テクノ株式会社
- ✓ インフォメーション



福島県沖を震源とする地震に対応

3月16日深夜、宮城・福島両県で最大震度6強を観測した地震が発生しました。

東北防衛局は、直ちに職員等の安否確認を行うとともに非常勤務態勢に移行し、登庁した職員は、対策本部を設置し、自衛隊施設等の被害状況や各県の対応状況の確認を行い、また、陸上自衛隊東北方面総監部に連絡員を派遣し、情報の収集に当たりました。

また、建設中の施設の被害状況について情報収集を実施するとともに、施設に被害が発生し運用への影響が懸念された陸上自衛隊多賀城駐屯地に職員を派遣し、応急危険度判定※及び使用への影響について確認しました。



※ 応急危険度判定とは

「応急危険度判定」とは、地震により被害を受けた建築物等について、その後の余震等による倒壊、損傷の危険性等を速やかに判定し、その判定結果に基づいて行われる恒久的復旧までの間、被災施設の使用者等に危険性に係る情報を提供することで被災後の人命に係わる二次災害を防止することを目的としています。

3月3日には、新規採用者を対象に応急危険度判定についての講義を行い、資格取得制度や当局職員との関り、これまでの活動実績について学びました。



三沢飛行場周辺対策事業(青森県三沢市、東北町)

3月24日、青森県三沢市の消防本部において消防車両配置式が、また、東北町の小川原湖漁業協同組合において水産物加工施設竣工式がそれぞれ行われました。新たな車両及び施設は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づく事業として整備されました。

～ 消防車両配置式(三沢市) ～

配置された車両(水槽付消防ポンプ車等)は、老朽化した車両の更新であり、購入には調整交付金事業として、総事業費約1億4500万円のうち、交付金約1億2300万円が充てられました。

水槽付消防ポンプ車は、水と消火薬剤を混合した泡を出す装置等を新たに備えることで消火能力の向上が見込まれ、また、高規格救急車は、運転席と傷病者室の間に従来なかった専用の間仕切りを備える等により感染症対策の向上が図られています。

これら車両の配置により、強力な消防体制が整い、より災害に強いまちづくりが進むことが期待されています。



高規格救急車

水槽付消防ポンプ車

写真：三沢市提供

～ 水産物加工施設竣工式(東北町) ～

本施設は、鉄骨平屋建てで、民生安定事業として、令和2年度から整備が進められ、総事業費約1億8000万円のうち、補助金約1億900万円が充てられました。

同施設は、水産物の取扱いが増加傾向にある一方で、加工・保管スペースが極めて狭く、漁協から遠く離れた冷凍施設への運搬・保管を余儀なくされていた状況を解消するため整備されました。漁協の近くに完成した本施設により今後は、漁獲したしじみ、ワカサギ、シラオなどを加工、保管し、特産品として付加価値を付けて販売する「6次産業化」が図られ、品質向上や年間を通じた安定的な出荷が可能となることから、漁業の持続性と経営安定化に向けた大きな期待が寄せられています。



玉串奉納(東北防衛局長)

写真左：
東北町提供



水産物加工施設の概観



弘前ねぶた300年祭 Since1722 ~歴史と伝統の継承、そして未来へ~

【弘前ねぶたまつり】

青森県津軽地方の夏を飾る「弘前ねぶたまつり」は、毎年8月1日～7日に開催され、三国志や水滸伝などの武者絵等を題材とした大小約80台の勇壮華麗なねぶたが、城下町弘前市を練り歩く夏祭りです。国から重要無形民俗文化財に指定されています。

「弘前ねぶたまつり」の起源は、昔、農民が夏の忙しい時期に襲ってくる眠気を追い払うため、睡魔を船や燈籠などにのせ、川に流した「ねむり流し」という行事から発展し、祭りになったとされています。

【お城とさくらとりんごのまち】

青森県弘前市は、青森県南西部に位置するまちで、1611(慶長16)年の弘前城築城以来、津軽地方の政治・経済・文化の中心として発展してきた歴史ある城下町であり、日本一ともいわれる「弘前さくらまつり」や、日本一の生産量を誇るりんごを用いたアップルパイ、シードルなどの特産品が有名です。



岩木山とりんご



弘前城菊と紅葉まつり



弘前さくらまつり

【弘前ねぶた300年祭】

弘前の「ねぶた」が初めて文献に登場したのは、1722(享保7)年の弘前藩庁「御国日記」であり、2022(令和4)年には、300年の記念の年として、弘前ねぶたの歴史・伝統を継承する各種事業の実施を予定しています。



弘前市マスコットキャラクター
たか丸くん

弘前ねぶた300年祭公式HP



未来テクノ株式会社(本社：東京都 設立：平成27年)は、岩手県奥州市に水沢工場があり、厚物生地を使用した製品、大物の縫製製品、特注の縫製製品などを製造しています。

今回は、長尾幸成工場長、佐藤孝行職務長にお話を伺いました。

Q1： 具体的には、どのような製品を製造されているのですか。

A1： テント倉庫やオイルフェンスなどです。大きな物では、東京ドームの屋根の内側のテフロン膜も製作しました、防衛省関連では、天幕類(テント類)、野外浴槽、貯水タンク、野外ベッド、担架、隊員が使用するバックなどです。

自社で、お客様へのヒアリング、設計、加工、納品までを一括で行っているのです、きめ細かいサービスと高品質を実現できています。



長尾工場長

Q2： 工場内には様々なマシンや溶着機(加熱と圧力で接着する機械)があり、また、別室にも多種多様なマシン等が置いてありましたが。

A2： 例えば、厚物を縫製するマシンは薄手の物を縫うには適していないので、それぞれの製品にあわせてマシン等の機械を変えるので、たくさん持っています。また、使いやすいように特注でオリジナルのマシンも作っています。



佐藤職務長

Q3： 繊維の加工技術は、東北復興事業にも活用されているとお聞きしましたが。

A3： 福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能除染作業により発生した土壌を覆うシートや汚染水タンクへの雨水の流入を防ぐ製品を防衛省納入品で培った気密、防水加工技術を生かし作っています。また、防衛省への貯水タンク納入実績を元に汚染水のバックアップ用のタンクも製造しています。

「当社の前身となる会社時代から蓄積された経験・技術を生かして、安心して快適な未来創りに貢献していきたいです」とお話をいただきました。



左：海上自衛隊
航空学生用
航空カバン



右：グループ会社の技術を生かし、感染症対策として、不織布製立体間仕切りも作成

写真：HPより抜粋

令和4年度 新規採用者入省式 ～新しい仲間が増えました～

4月1日、東北防衛局で令和4年度新規採用者入省式が行われました。

入省式は、例年、本省(東京都)で実施されていますが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、各採用機関での実施となりました。



インフォメーション

新幹部紹介(4月1日着任)

企画部長 鶴岡 隆之
【前職：北海道防衛局管理部長】



企画部次長 林 憲昭
【前職：東北防衛局企画部
地方調整課長】



調達部次長 三浦 仁志
【前職：東北防衛局調達部
調達計画課長】



企画部地方調整課長 佐藤 浩久
【前職：東北防衛局企画部業務課長】



調達部調達計画課長 高橋 司
【前職：東北防衛局調達部
事業監理課長】



三沢防衛事務所長 衛藤 剛
【前職：南関東防衛局企画部
防音対策課長】



会計監査官 田中 信明
【再任用】



三沢防衛事務所次長 千田 秀雄
【再任用】



東北防衛局がおくるラジオ番組

東北防衛局では、防衛省・自衛隊の各種施策について、地方公共団体及び地域の方々から幅広い理解と協力を得ることを目的とした地方協力確保事務の一環として、防衛政策や自衛隊・米軍の活動状況等について、短時間でわかりやすくお伝えするラジオ番組「日本の防衛Q&A」を東北6県で放送しています。過去には、防衛予算や、若手職員による業務内容の紹介なども放送しており、今後も基本的な防衛施策からニュースを賑わせている防衛課題まで、様々な話題を幅広く放送する予定ですので、是非ともお聴き下さい。



スタジオの様子

青森県

放送局	周波数	放送日時
FM Azur (むつ市)	76.2MHz	最終月曜日 13:30
FMごしょがわら (五所川原市)	76.7MHz	第3月曜日 13:30
FMアップルウェーブ (弘前市)	78.8MHz	第3土曜日 10:15
FM JAIGO WAVE (南津軽郡田舎館村)	76.3MHz	第1月曜日 12:20
Be FM (八戸市)	76.5MHz	最終日曜日 8:50

秋田県

放送局	周波数	放送日時
秋田コミュニティー放送 (秋田市)	76.5MHz	第1金曜日 13:15
エフエム樺台 (秋田市)	79.6MHz	第1月曜日 8:45
FMゆーとぴあ (湯沢市)	76.3MHz	第1木曜日 11:49

岩手県

放送局	周波数	放送日時
ラヂオもりおか (盛岡市)	76.9MHz	第1土曜日 6:20
みやこハーバーラジオ (宮古市)	82.6MHz	第2火曜日 12:30
FM One (花巻市)	78.7MHz	第2木曜日 20:30
奥州エフエム (奥州市・金ケ崎町)	77.8MHz	第2土曜日 12:48

山形県

放送局	周波数	放送日時
ハーバーRADIO (酒田市)	76.1MHz	毎週日曜日 10:35
ラジオモンスター (山形市)	76.2MHz	第3木曜日 9:30
おらんだラジオ (長井市)	77.7MHz	毎週木曜日 7:30
エフエムNCV (米沢市)	83.4MHz	第3土曜日 9:20

宮城県

放送局	周波数	放送日時
H@!FM (登米市)	76.7MHz	第1土曜日 14:45
ラジオ石巻 (石巻市)	76.4MHz	第2水曜日 14:30
BAY WAVE (塩竈市)	78.1MHz	第1月曜日 9:45
fみいずみ (仙台市)	79.7MHz	最終水曜日 14:00
ラジオ3 (仙台市)	76.2MHz	第4水曜日 15:40
ほほえみ (岩沼市)	77.9MHz	第2火曜日 7:40
Rakuten. FM (仙台市)	89.1MHz	最終木曜日 12:00
エフエムなとり (名取市)	80.1MHz	毎週木曜日 8:15
ぎょっとFM (気仙沼市)	77.5MHz	第3月曜日 10:20

福島県

放送局	周波数	放送日時
FM POCO (福島市)	76.2MHz	第1木曜日 12:48
FMモットコム (本宮市)	77.7MHz	第1金曜日 13:10
FMきたかた (喜多方市)	78.2MHz	第1土曜日 9:00
FM愛's (会津若松市)	76.2MHz	毎週火曜日 18:20
SEA WAVE FMいわき (いわき市)	76.2MHz	第1水曜日 8:30
ULTRA FM (須賀川市)	86.8MHz	毎週土曜日 17:45

東北防衛局職員採用案内 2023年4月新規採用

東北防衛局では、2022年度国家公務員採用一般職試験の最終合格者から職員(事務官・技官)の採用を行います。職員は、様々な業務を行い、自衛隊・在日米軍の活動を支え、地域住民の方々との架け橋となっています。幅広い視野と積極性を持ち、粘り強く課題に取り組める人材を求めています。

業務説明会や官庁訪問を実施し、具体的な業務内容のほか、やりがいや醍醐味なども職員から直接お伝えします。興味・関心のある方は、是非ご参加ください。

事務官(行政・事務職)

【試験区分：行政、事務】

【主な業務内容】

防衛政策への理解と協力を得るための施策(広報、防衛セミナー、日米交流事業等)や防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策(民生安定施設の整備、障害防止工事、住宅防音事業等)等



技官(技術職)

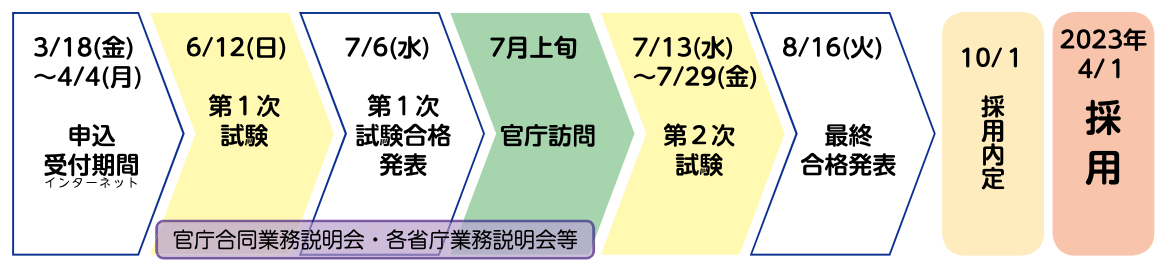
【試験区分：デジタル・電気・電子、機械、土木、建築、技術】

【主な業務内容】

自衛隊や在日米軍の活動基盤となる防衛施設(飛行場、港湾施設、レーダー施設、体育館、隊舎など)の建築・土木・機械・電気通信設備工事の設計・監督等



採用までの流れ 2022年度国家公務員一般職試験(大卒程度試験)



東北防衛局採用情報は
こちらから



編集後記

表紙の写真は、弘前市よりご提供いただいた「ねぶた」です。

今年は、初めて文献に登場してから300年の節目の年を迎えるそうです。

また、環境省の「残したい日本の音風景100選」にも選ばれているそうです。

「ねぶた」だけでなく、勇壮な掛け声、太鼓の音や囃子の笛など、音に注目して観覧するのもいいかもしれませんね。



金魚ねぶた

